

# 公共施設の保全システム

事業項目 都市・交通計画、建築

事業領域 建築保全計画

## 目的

多くの自治体では高度成長期に、都市の拡大にあわせて公共施設整備を進め、住民サービスの向上に努めてきました。それから30~40年が経過してこれら公共施設は、老朽化が進み、近い将来、修繕・改修等が必要となる施設が急激に増加することが予想されます。これらの、膨大な公共施設ストックの老朽化の進行と同時に、近年の市の財政状況の厳しさにより、今後は新築・改築などへの投資余力は減少することも予想されています。公共施設の長寿命化を目指し、維持補修や改修などの計画的な保全・更新を限られた予算の中で

### ◇膨大なストックの老朽化の進行

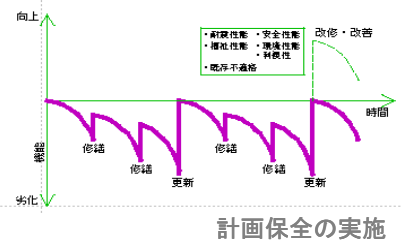
⇒近い将来、修繕、改修等が必要となる施設が急激に増加する

### ◇市の財政状況の厳しさ

⇒今後は新增改築などへの投資余力は減少する

ストックマネジメントの導入が必要

建物の情報を一元管理



予防的な保全体制への移行  
計画保全の実施  
意思決定の支援

建築保全システム

## 概要

システムは大きく3つのフェーズで構成されます

### 【A】台帳管理システム

分散している建物情報の一元化  
デジタル化による各部署での共有化

### 【B】点検支援システム

劣化図・劣化写真による適正な現況把握  
保全度・安全性調査票による現況調査  
法定点検などの各種点検結果の管理

### 【A】台帳管理システム

情報のデジタル化、一元化



### 【B】点検支援システム

適正な現況把握、法定点検



### 【C】診断・評価システム

建物診断 長期保全計画



お問い合わせはこちら



**[A]台帳管理システム**

**【工事台帳】**

**【施設台帳／棟台帳】**

**【ドキュメント管理】**

様々な図面・写真・書類を

**[A]台帳管理システム**

- 1) 施設台帳
  - 2) 棟台帳
  - 3) 維持管理台帳
  - 4) 工事台帳
  - 5) 部位別台帳
  - 6) 設備機器台帳
- 図面等スキャン作業

**[B]点検支援システム**

- 日常点検  
保全度調査  
安全性調査

**[C]診断・評価システム**

**[C]診断・評価システム**

床面積と築年数から修繕費を想定して、

**[B]点検支援システム**

**【点検台帳】**

点検状況の管理  
(法定点検や事故経歴も管理します)

保全度調査

70年間の修繕・更新費を算定します

それをグラフに表現します

この年に大きな費用が

**備考**

LCC  
ライフサイクルコスト(Life cycle cost)の略で、製品や構造物などの費用を、建設～使用～廃棄の全ての段階をトータルし

**実績**

- 市有建築物計画保全システム整備委託 (発注: 枚方市役所)
- 市有建築物計画保全システム拡充委託 (発注: 枚方市役所)

お問い合わせはこちら ↓